

【実施区域・面積】

神奈川県、0.043ha

【生態系タイプ】

創出緑地

【実施区域の状況】

「中津クロスポイント」は神奈川県愛甲郡愛川町にある工業団地内の西松建設株式会社技術研究所敷地に再整備されたビオトープである。

陸域と水域を整備し、愛川町とその周囲環境に自生している植物種を移植することで地域生態系を再現し、固有性が高い動植物種の当サイトへの移入利用を可能とした。多様な生物の生活様式に対応したインセクトホテルを設置することで節足動物の越冬、産卵を支援する。

当サイトは二つの一級河川の間には存在するため、生物の生存・生育に重要な河川をつなぎ、動植物の移動・休息・繁殖等のライフサイクルにおける一つの拠点となることが期待される。

【目標】

当サイトは工業団地内にビオトープを整備することで地域の希少な生物の生存の場を提供し、生物多様性を保全することを目的とする。職員や地域住民に向けた環境教育の場として活用する。また当活動を通して、ビオトープの整備から活用までのノウハウを取得する。

【主な活動内容】

当サイトは地域に生息する動植物種の生存の場を提供し、愛川町とその周辺地域の生態系を再現することで、植物多様性を保全し、またその管理（定期的な草刈りや、日常的な特定外来種の選択的除草など）を行う。

【モニタリング計画】

当サイト全域の動植物種を対象として日常的な観察（3回程度/週）、定期的な観察（1回程度/月）を行う。また、センサーカメラの設置による定点での観察（常時）も行う。目視による希少種等の有無の記録、撮影を行う。

【実施体制】

当サイトは職員による日常的な観察と活動責任者を筆頭に複数の管理担当者による定期的な観察、整備を行うことで特定の担当者への属人化を避け、維持管理の継続性を確保する。日々変化する自然環境に対しても柔軟で順応的な管理を行う。



【計画期間】

2025年9月～2030年8月